



その他

遊園地という施設の性格上、電気や水の使用量が入園者数や天候（特に気温）に左右されやすく、しかも事前に予想が立てにくいのが実情です。そこで、少しでも目標数値に近付けられるよう、事務所内のクーラーに節電ステッカーを、園内のトイレへ節水ステッカーをそれぞれ貼付しているほか、閑散時における遊戯機の運転台数削減・消灯を実施するなど、折に触れてスタッフの省エネルギー・省資源に対する意識の向上を図っています。



▲節電ステッカー



▲節水ステッカー



▲「ジャイアントドロップ メテオ」

お客さまのご利用状況に合わせて稼働台数(全3台)を調節しています。
(写真では、お客さまが利用しておられる左側のみが稼働しています。)



全社的な取り組み

■ エコオフィスの推進

電力消費量の削減

省エネルギーを進めるうえで最も基本的かつ効果的なことは、「使わない時には電源をOFFにする」ということです。そこで、各オフィスでは、休憩時間中には消灯して電力消費量の削減を図っています。また、長時間使用しないテレビなどの電気製品のプラグをコンセントから抜くことで待機電力をカットしたり、空調機器の設定温度にも一定の基準を設けて無駄を省いたりしています。



▲節電モードに設定したコピー機

ペーパーレス化に向けての取り組み

コピー用紙やFAX用紙をはじめ、各オフィスで日々消費される用紙類は膨大な量に上ります。その一方で、世界的な規模で森林破壊が進行し、紙の原料となる森林資源の保護が強く求められています。そこで、電子メールによる資料配布や両面コピーの活用などを積極的に行い、可能な限りのペーパーレス化に全社を挙げて取り組んでいます。



▲部署ごとにコピー用紙の使用枚数を管理

■ グリーン購入の推進

グリーン購入の推進をめざして、①特定調達品目のグリーン購入率②帳票類等の再生紙製品購入率③コピー用紙の再生紙製品購入率の3点につき数値目標を設定しています。2003年度は①を除いて十分に数値目標をクリア（①についても、数値目標100%に対し、達成率は99%）できましたので、今後は更新時期を迎えた空調機器の購入に当たっても、グリーン購入法に基づく判断基準に適合した製品の購入を進めるなど、より高いレベルを追求していきます。



▲グリーン購入の一例(コピー用紙)